

東大和市駅周辺 まちづくり意見交換会（第4回）

令和8年2月10日（火）

南街市民センター（南街公民館） 202集会室

東大和市 まちづくり部 都市づくり課

◆ 本日の内容

(1) 意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り

(2) まちづくりイベントの結果

(3) 本日もご意見をいただきたい事項

① まちの将来像(案)、まちづくり方針・取組(案)について

② 今後の進め方について

(4) 意見交換

(1) 意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り

<意見交換会の趣旨・進め方>

<目的>

東大和市駅周辺のまちづくりに関して、市と地域の皆様で意見交換を行い、まちづくりの将来像及び実現に向けたロードマップの検討を行うことを目的としています。

<参加者>

市内に在住・在勤・在学している方
東大和市のまちづくりに意欲がある方

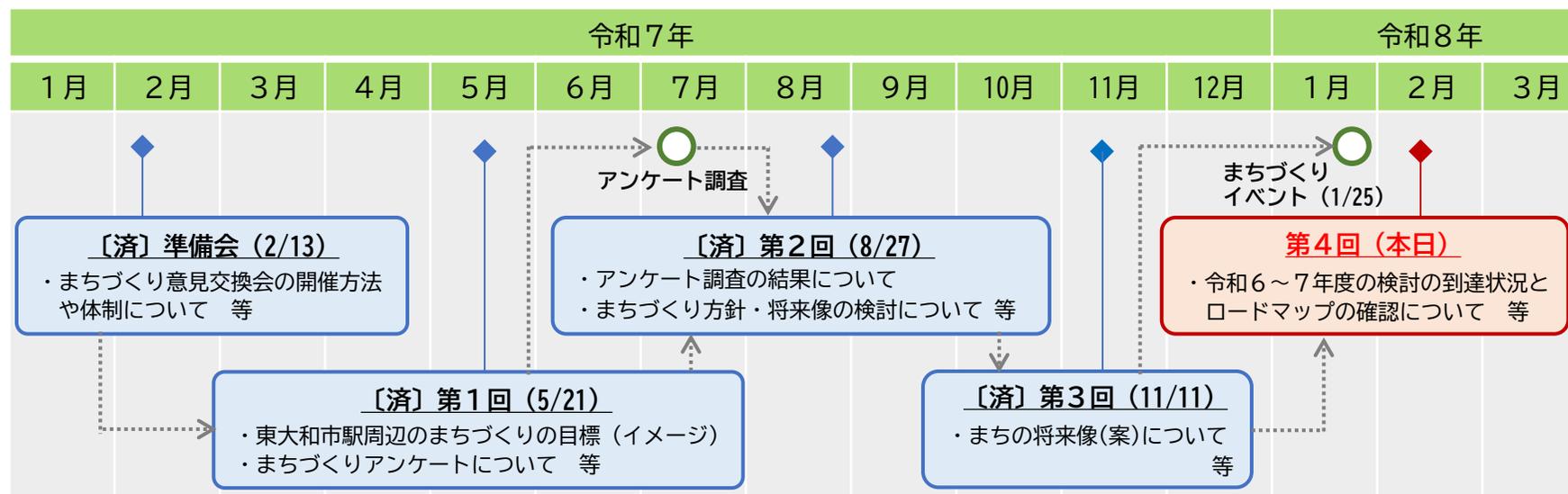
<場所>

向原市民センター 又は 南街市民センター

<開催曜日、時間>

平日の夜間に開催しています。

<意見交換会等のスケジュール>



まちづくり構想(案)の作成

(1) 意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り

<前回（第3回）の開催結果の概要>

◇ 概要

日 時：令和7年11月11日（火）午後6時30分～午後8時

場 所：南街市民センター 202集会室

参加人数：参加者 13名

◇ 市からの説明

- <テーマ>
- ・意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り
 - ・「まちの将来像(案)」「まちづくり方針・取組(案)」について
 - ・まちづくりイベントについて

◇ 意見交換（グループワーク） ※4つのグループに分かれて実施

- <テーマ>
- ・「まちの将来像（案）」について
 - ・「まちづくり方針・取組（案）」について



説明の様子



グループの発表の様子

(1) 意見交換会の趣旨・進め方と前回の振り返り

<グループワークでの主なご意見のまとめ>

テーマ	主なご意見
<p data-bbox="56 507 421 596">「まちの将来像(案)」 について</p> <p data-bbox="114 660 405 847">まちの将来像(案) ・東京まなびまち ・東大和プレイシティ ・STATION CROSSING ・Share-Town</p>	<ul data-bbox="504 389 2168 887" style="list-style-type: none">・「東京まなびまち」は、年代を超えて将来へのつながりを感じられ、幅広い世代のまなびの場を作ることにつながる点が良いが<u>やや堅い印象</u>を受ける・まちの将来像は、<u>新しさや親しみやすさがあり、遊び心や創造性を取り入れた表現</u>がよい・「東大和プレイシティ」は、<u>遊び心や活動性を表している</u>・駅前に<u>“まちの顔”</u>となる場をつくることが重要・ハード整備だけではなく、<u>ソフトを活かした変わるまちづくり</u>を進める・日常的に利用できる<u>“学び・交流・憩いの場”</u>の充実したまちを目指す・<u>子どもや子育て世代にとっても、魅力的なまち</u>を目指す
<p data-bbox="56 1142 421 1279">「まちづくり方針 ・取組(案)」 について</p>	<ul data-bbox="504 960 2168 1474" style="list-style-type: none">・まちに<u>“余白”</u>を残すことで、イベントの開催など<u>市民がやりたいことが実現できる場</u>をつくる・図書館やコミュニティスペース、飲食、行政サービスなど、<u>市民が日常的に利用できる場所</u>の充実・駅前に<u>学生の居場所となる学習スペース</u>の設置や、<u>学生が利用しやすい店舗</u>の誘致・駅前のスケートセンターなどを活かし、<u>スポーツの魅力</u>でまちににぎわいを生み出す・駅前広場や道路を再整備し、<u>歩行者・自転車・自動車が安全に移動できる環境</u>をつくる・個性的な店舗や写真映えスポットを増やすなど、<u>魅力的でおしゃれなまち</u>にする・駐輪場や駐車場の地下化など、<u>駅前に“まちの顔”にふさわしい景観</u>を整える・<u>都市計画道路の整備</u>や<u>用途地域の見直し</u>により、地域に活気をつくり出す

(2) まちづくりイベントの結果

- 東大和市駅周辺の拠点形成に向けた取組経過やまちづくりについてみなさまに広く知っていただき、ご意見を伺うため、「東大和市駅周辺まちづくりイベント」を開催しました。

<まちづくりイベントの概要>

日時	令和8年1月25日(日曜日) 午前10時から午後3時まで
場所	BIGBOX東大和 1階 パブリックスペース
対象者	市民・駅利用者等
参加者数	模型展示 : 88人 パネル展示 : 34人 ガリバーマップ : 59人 (子ども33人/大人26人) ※各コーナーの参加者数は、延べ人数です。

※イベントの内容・結果の詳細は、市公式ホームページ(右のQRコード)からご覧いただけます。



<イベント内容と当日の様子>

東大和市駅周辺の拠点形成について、これまでの検討内容や現在の進捗状況を、「パネル・模型の展示」を通して紹介しました。



床に広げた地図に、お絵かき等をしながら、まちづくりを体験してもらい、参加者の自由な発想を持ち寄って、みんなで一つの地図を作る「ガリバーマップづくり」を行いました。

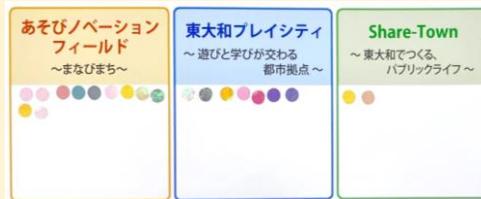


(2) まちづくりイベントの結果

<パネル・模型展示を見た方のご意見>

◆「駅周辺のまちの将来像（案）」について

- 複数の案を提示し、参加者に良いと思う案にシールを貼ってもらいました。

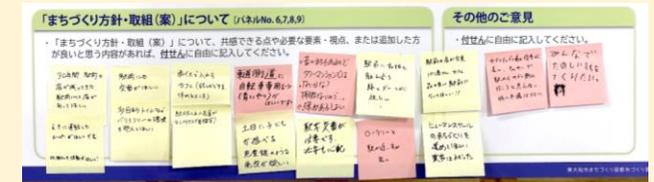


(投票の結果)

あそびノバージョンフィールド ~まなびまち~	11票
東大和プレイシティ ~遊びと学びが交わる都市拠点~	7票
Share-Town ~東大和でつくる、パブリックライフ~	2票

◆「まちづくり方針・取組（案）」について

- 付せんを用いて、参加者から自由な意見を記入してもらいました。



(主なご意見 ※抜粋)

駅前の店が充実（パン屋さん、カフェなど）	品の良い駅前になってほしい
土日に子どもが遊べる児童館のような施設がほしい	
多目的トイレなどバリアフリーの環境を整えてほしい	
ロータリーと駅が近い方が良い	
駅前にも交番がほしい	
ヒューマンスケールのまちづくりを進めてほしい、夜市はよかった	

<ガリバーマップづくりの結果>

- 東大和市駅周辺のまちの将来イメージを描いた大きな地図に、お絵かきやシールを貼る、ペーパークラフトを置くなど、参加者に自由な発想でまちづくりを楽しんでもらいました。
- 賑わいのある駅周辺や沿道のお店（カフェやパン屋など）、公園、動物園など、思い思いのアイデアが地図の上に表現されました。



(3) 本日も意見をいただきたい事項

① まちの将来像(案)、まちづくり方針・
取組(案)について

② 今後の進め方について

① まちの将来像(案)、まちづくり方針・取組(案)について

○「意見交換会」「まちづくりアンケート」「まちづくりイベント」で寄せられた、東大和市駅周辺のまちづくりに関するご意見を、整理しました。

第3回意見交換会からの変更点：

- ・「将来のまちのあり方」に関するご意見を整理（「学ぶ」「遊ぶ」「交流する」「つながる」「創造する」などのキーワード）

第3回意見交換会からの変更点：

- ・「テーマごとに整理した主なご意見」を6分類に再整理

◆ 将来のまちのあり方についてのご意見

- ・人とのつながりや出会い、互いに学び合う関係性を大切にできるまち
- ・まちの将来像は、新しさや親しみやすさがあり、遊び心や創造性を取り入れた表現がよい
- ・“まちの顔”としての風格を備え、誰もが気軽に立ち寄り、集える駅前空間
- ・日常的に利用できる“学び・交流・憩いの場”の充実したまち
- ・駅前に、学生が学び・交流し、滞在できる環境をつくる
- ・ハード整備中心でなく、ソフトを生かした“変わる”まちづくりを進める
- ・子どもが安心して遊べる“緑と憩い”の駅前空間
- ・文化と交流が育ち、世代を超えて人々がつながるまち
- ・スポーツ施設が充実していることを活かした、若者が訪れる活気あるまち
- ・災害に強く、安全・安心で、バリアフリーに配慮したまち

◆ テーマごとに整理した主なご意見

交流



- ・まちに“余白”を残し、市民がやりたいことを実現できる場づくり
- ・まちの回遊性の向上
- ・世代を超えた交流の場づくり
- ・気軽に立ち寄れる市民の居場所づくり
- ・空き家・店舗の活用による地域交流

創る



- ・駅前空間や鉄道高架下の活用
- ・個性あふれる店舗が集うまちの形成
- ・快適に歩ける環境を実現する施設整備
- ・円滑な交通を支える道路整備
- ・災害に強いまちづくり
- ・目指す方向性を見出す社会実験の実施

子育て・教育



- ・子どもが安全に遊べる空間づくり
- ・子育てがしやすいまちの実現
- ・子どもの教育環境の充実
- ・知識・学びを支える環境づくり
- ・起業家精神の育成・支援

文化・芸術・音楽



- ・気軽に楽しめる飲食店の充実などによる食文化の育み
- ・音楽イベント・アニメ・ゲームなどコンテンツを活用した魅力づくり
- ・芸術や文化を発信する駅前空間の創出

スポーツ・健康



- ・駅前のスポーツ施設を活用した、若者を呼び込むまちづくり
- ・散歩を楽しめるまちづくり
- ・東大和元気ゆうゆう体操ができる広場など健康づくりの場の創出

環境・自然



- ・緑と憩いに溢れ歩いて楽しいまちの形成
- ・花が咲き彩りのあるまちの創出
- ・自然環境と調和・共生するまちづくり
- ・狭山緑地等へのアクセス性向上

① まちの将来像(案)、まちづくり方針・取組(案)について

- これまでの意見交換会やアンケート、まちづくりイベントで寄せられたご意見を踏まえ、“あそび”や“まなび”という視点から、駅周辺のまちの将来像を検討しました。

第3回意見交換会からの変更点：

- ・「あそび」の視点を取り入れ、「東京まなびまち」から変更

<まちの将来像(案)>

(仮称) あそびノベーションフィールド ~まなびまち~

このエリアには、「交流」「子育て・教育」「スポーツ・健康」「創る」「文化・芸術・音楽」「環境・自然」など、日常の中に“あそび”へ開かれていく多彩な要素が根づいています。

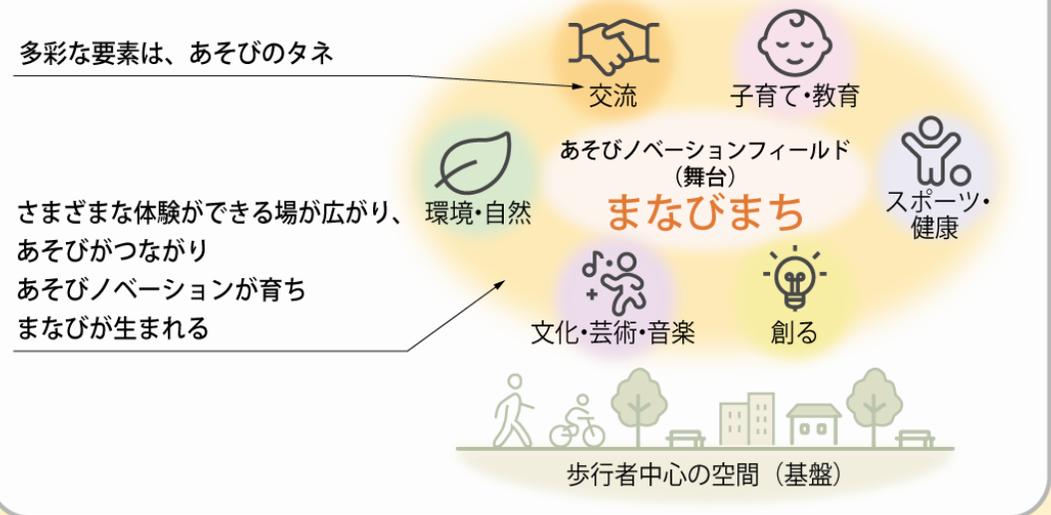
これらの“あそび”の資質を活かす、さまざまな体験ができる環境や柔軟に使える“余白”のある環境を広げていくことで、一人ひとりの「やってみたい」が形になる場を育てます。

そうした積み重ねの中で、“あそび”がつながり、“あそびノベーション”（“あそび”＋“イノベーション”）が育まれ、“まなび”を享受するまちを目指します。



市民・事業者・行政がともに試し、つくり、育てていく。変化する社会や暮らしに寄り添い、新しい都市文化が芽生える“まなび”の拠点を創ります。

<コンセプト図>



- “あそび”： 娯楽に限らず、人・地域・自然と関わりながら、成果を急がず自発的に取り組む活動全体。
- “イノベーション”： 新しい発想や組み合わせによって、社会や暮らしに新たな価値や変化をもたらすこと。
- “あそびノベーション”： あそびを起点に、新しい価値や関係性が生まれていく創造的プロセス。
- “まなび”： そのプロセスの中で生まれる、気づきや成長の積み重ね。

① まちの将来像(案)、まちづくり方針・取組(案)について

※将来像を“あそびノベーションフィールド”
と仮定して記載しています

第3回意見交換会からの変更点：

・目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅴについて、「あそびノベーションフィールド」に沿った表現となるよう整理

- 多様な“まなび”のポテンシャルを引き出しながら、それを支える基盤として、誰もが快適に行き来でき、安心して過ごせる開かれたまちの実現を目指し、5つの視点からまちづくりの目標を定めます。

東大和市駅周辺のまちづくりの5つの視点

まちづくりの目標



【視点1】住民の生活を支えるサービスが充実している
子育て世代に必要な都市機能、シニアもアクティブに活動できる場、
生涯学習に資するサービスなどが、いつも使う駅前に集積



Ⅰ “あそびノベーション”を育む
多様な都市機能が集まっている



【視点2】用事がなくても立ち寄りたくなる
特に目的がなくても、何気なく駅前まで散歩したくなる、
駅前で何かやっていると期待して、ふらっと立ち寄りたくなる場



Ⅱ 歩いて楽しく、立ち寄りたくなる
“まなびの場”が広がっている



【視点3】ストレスレスで駅へ行き来できる
東大和市駅と市内各所との往来に伴うストレスを軽減し、
都心（中枢広域拠点）や立川（中核的な拠点）へのアクセスがしやすい



Ⅲ 高い交通利便性とアクセス性が
備えられている



【視点4】災害時でも速やかに日常へ復帰できる
大きな災害が起きても被害が拡大・長期化しない、
速やかに日常の状態へ復帰する、安心して暮らし続けられる環境



Ⅳ 災害に強く、安心して暮らせる
環境が備えられている



【視点5】まちの未来を描く実験と挑戦が繰り返される
市民・事業者・行政が共に考え、創る、
小さな取組を重ねながら学び合う仕掛け



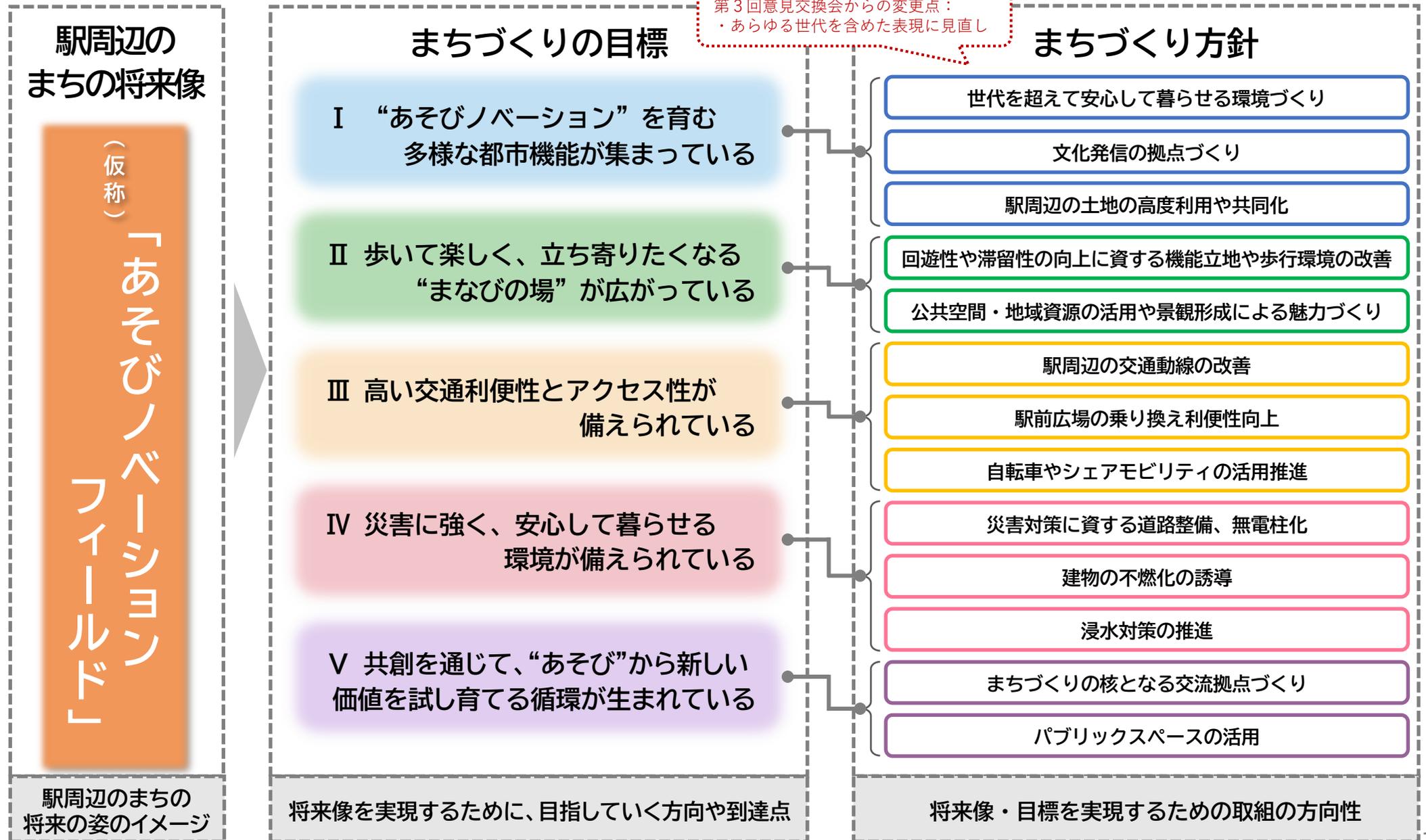
Ⅴ 共創を通じて、“あそび”から新しい
価値を試し育てる循環が生まれている

① まちの将来像(案)、まちづくり方針・取組(案)について

○ まちの将来像・まちづくりの目標と、そこから導かれるまちづくり方針について、下記のとおり整理しました。

※将来像を“あそびノベーションフィールド”と仮定して記載しています

第3回意見交換会からの変更点：
・あらゆる世代を含めた表現に見直し



① まちの将来像(案)、まちづくり方針・取組(案)について

<まちづくり方針図>

<目標Ⅰ> “あそびノーション”を育む
多様な都市機能が集まっている

方針Ⅰ-1. 世代を超えて安心して暮らせる環境づくり [取組①]
方針Ⅰ-2. 文化発信の拠点づくり [取組②]
方針Ⅰ-3. 駅周辺の土地の高度利用や共同化 [取組③]

<目標Ⅱ> 歩いて楽しく、立ち寄りたくなる
“まなびの場”が広がっている

方針Ⅱ-1. 回遊性や滞留性の向上に資する機能
立地や歩行環境の改善 [取組④, ⑤]
方針Ⅱ-2. 公共空間・地域資源の活用や景観形成
による魅力づくり [取組⑥]

<目標Ⅲ> 高い交通利便性とアクセシビリティが
備えられている

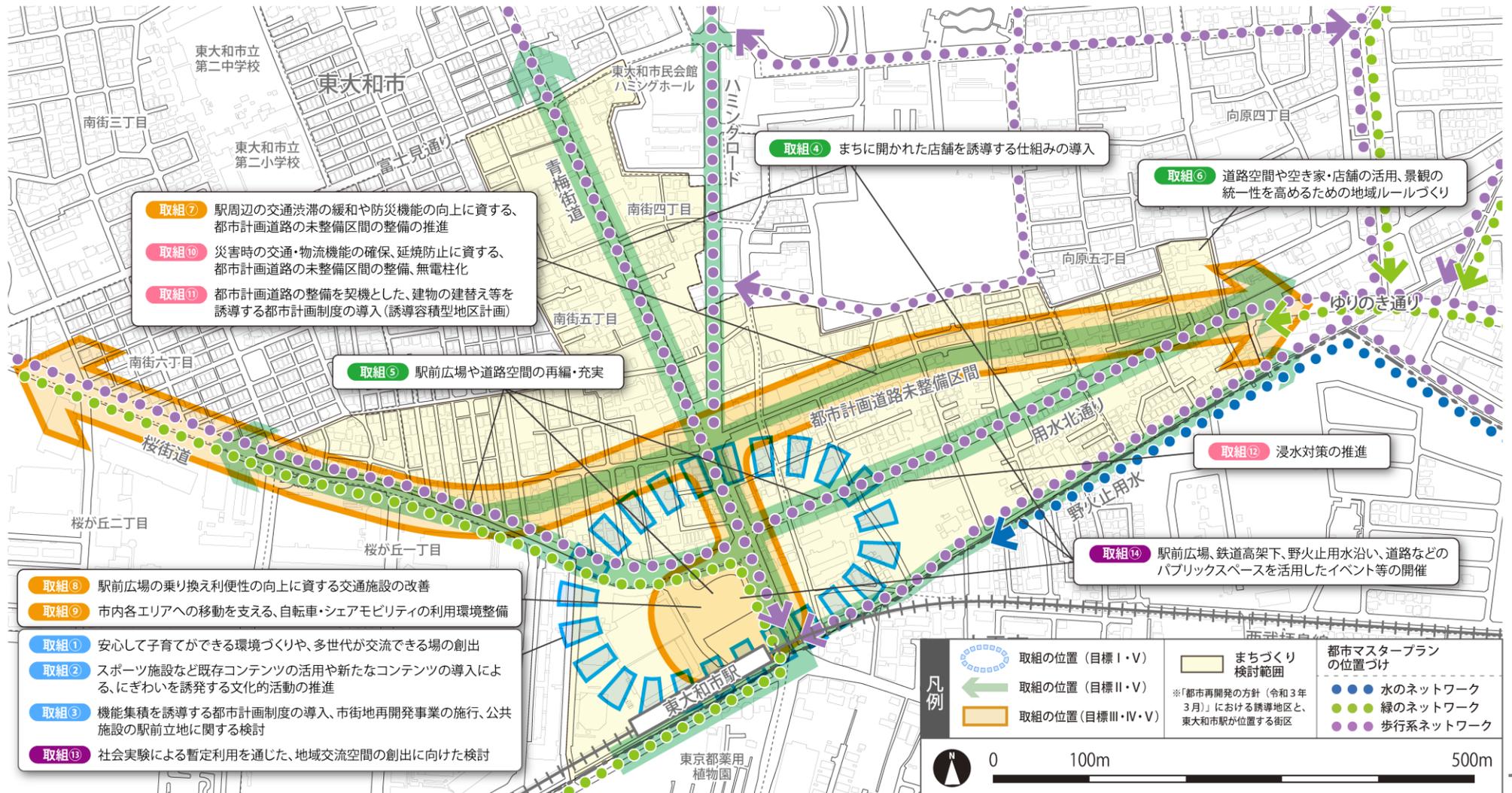
方針Ⅲ-1. 駅周辺の交通動線の改善 [取組⑦]
方針Ⅲ-2. 駅前広場の乗り換え利便性向上 [取組⑧]
方針Ⅲ-3. 自転車やシェアモビリティの活用推進
[取組⑨]

<目標Ⅳ> 災害に強く、安心して暮らせる
環境が備えられている

方針Ⅳ-1. 災害対策に資する道路整備、無電柱化
[取組⑩]
方針Ⅳ-2. 建物の不燃化の誘導 [取組⑪]
方針Ⅳ-3. 浸水対策の推進 [取組⑫]

<目標Ⅴ> 共創を通じて、“あそび”から新しい
価値を試し育てる循環が生まれている

方針Ⅴ-1. まちづくりの核となる交流拠点づくり
[取組⑬]
方針Ⅴ-2. パブリックスペースの活用 [取組⑭]



※電子地形図 (国土地理院) を加工して作成

① まちの将来像(案)、まちづくり方針・取組(案)について

「東大和市駅中心地区」および「駅前広場」の方針・取組(案)

第3回意見交換会からの変更点：
・あらゆる世代を含めた表現に見直し

世代を超えて安心して暮らせる環境づくり

- <取組>
- ・安心して子育てができる環境を整えるとともに、学生から大人まで多様な世代が心地よく集い、交流できる場を創出する。



参考イメージ：子どもも大人も安心して過ごせる「八戸まちなか広場」(八戸市)

文化発信の拠点づくり

- <取組>
- ・既存のスポーツ施設などを活かし、新しいイベントや文化活動を取り入れて、まちににぎわいを生み出す。



参考イメージ：小学生アイススケート教室 (BIG BOX 東大和)

駅周辺の土地の高度利用や共同化

- <取組>
- ・商業・宿泊・高質な住まいなど地域の暮らしと活動を支える都市機能の整備を促すとともに、土地の集約や道路・広場整備、建物の更新・共同建替えを誘導し、駅周辺の高度利用を図る。



参考イメージ：駅前の商業施設「nonowa国立SOUTH」(国立駅南口)

浸水対策の推進

- <取組>
- ・頻発する浸水被害への対策として、「空堀川上流雨水幹線整備事業」を推進する。



駅前広場の乗り換え利便性向上

- <取組>
- ・駅とバス・タクシー乗降場を結ぶ通路への屋根の設置や、自家用車の送迎用駐車スペースの整備を行う。



参考イメージ：通路の屋根(新所原駅北口駅前広場)

自転車やシェアモビリティの活用推進

- <取組>
- ・市内各所への移動を支える、自転車の走行・駐輪環境の整備や、シェアモビリティ(シェアサイクルなど)のポート整備を促進する。



参考イメージ：南街四丁目シェアサイクルポート

まちづくりの核となる交流拠点づくり

- <取組>
- ・社会実験による暫定利用を通じて、芝生広場や仮設コンテナなどを活用した地域交流空間の創出に向けた検討を行う。



参考イメージ：若者クリエイティブコンテナ(宇部市)

画像出典： a) 全国まちなか広場研究会、八戸まちなか広場「マチニワ」(https://machinakahiroba.main.jp/2017/03/23/八戸まちなか広場「マチニワ」) b) 東大和市HP、【イベントレポート】令和7年8月23日・24日小学生アイススケート教室開催(https://www.city.higashiyamato.lg.jp/bunkasports/event/1003707/1011300.html) c) MOCTION、nonowa国立SOUTH(https://moction.jp/moction_magazine/nonowa-kunitachi/) d) 西東京市、ひばりヶ丘駅北口地区街並み再生方針(案)の概要(https://www.city.nishitokyo.lg.jp/siseizyoho/pub/kanren/hibarikiitaguchi.files/gaiyo_all.pdf) e) 株式会社現代計画研究所、多世代交流スペース(コンテナハウスと芝生広場)(https://gkk-tokyo.com/projects/machizukuri/) f) OpenStreet株式会社、HELLO CYCLING(https://www.hellocycling.jp/station/tokyo/東大和市) g) 積水樹脂株式会社、駅前広場の乗降場(https://www.sekisuijushi.co.jp/products/bollard/super_core/)

① まちの将来像(案)、まちづくり方針・取組(案)について

第3回意見交換会からの変更点：
 ・多様なニーズに応じた活用ができる空間を目指す内容を追加

「まちづくり検討範囲」および「沿道商業エリア」の方針・取組(案)

回遊性や滞留性の向上に資する機能立地や歩行環境の改善

- <取組>
- ・駅前広場や道路について、誰もが安全かつ円滑に通行できるよう、通行環境の改善を図るとともに、多様なニーズに応じて活用できる空間の形成を推進する。

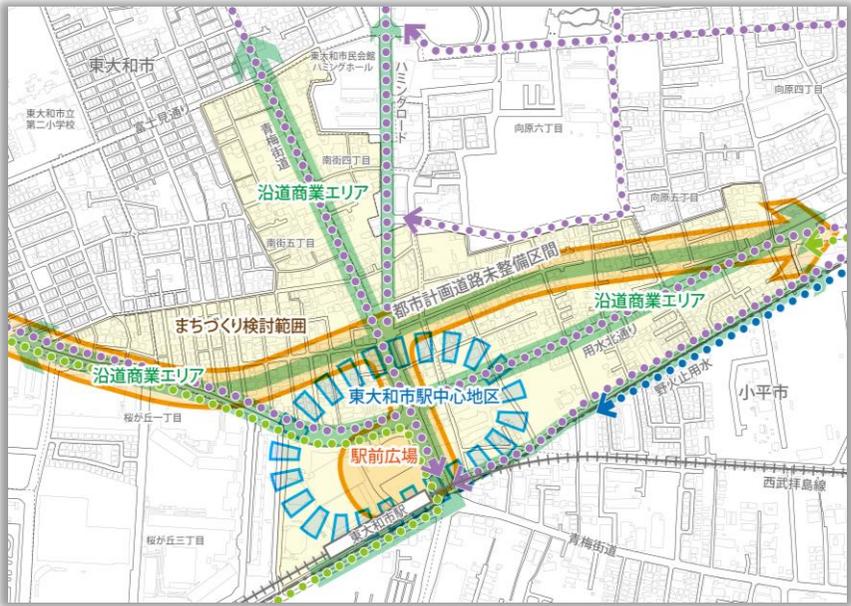


参考イメージ：拡幅や舗装の高質化により、歩きやすく快適に利用できるようになった歩道（大阪市 御堂筋）

- ・沿道商業エリアに、まちに開かれた店舗（建物1階沿道部分がガラス張りの路面店等）を誘導する。



参考イメージ：1階沿道部分がまちに開かれた店舗（松山市 花園町通り）



公共空間・地域資源の活用や景観形成による魅力づくり

- <取組>
- ・道路空間や空き家・店舗の活用を促進するとともに、良好な景観や環境づくりに向けた、地域ルール の策定等を検討する。

参考イメージ：戸建て住宅を改修して設けられた、「食」を中心としたパブリックコモンスペース「okatte にしおぎ」（杉並区宮前5丁目）



第3回意見交換会からの変更点：
 ・景観や環境づくりに向けた検討を行う内容を追加

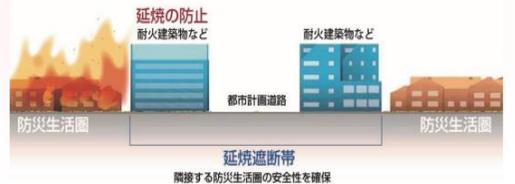
駅周辺の交通動線の改善

災害対策に資する道路整備、無電柱化

- <取組>
- ・駅周辺の交通渋滞の緩和や防災機能の向上を図るため、都市計画道路の整備や無電柱化を推進する。

建物の不燃化の誘導

- <取組>
- ・都市計画道路の整備と合わせて、沿道の建物の建替え等を誘導する。



参考イメージ：都市計画道路の整備による市街地の防災性向上のイメージ

パブリックスペースの活用

- <取組>
- ・駅前広場、鉄道高架下、野火止用水沿い、道路などのパブリックスペースについて、多様な主体による活動や活用の促進を図る。



参考イメージ：高架下の夜市（東大和市駅）

画像出典： h) セントラルコンサルタント株式会社、御堂筋における道路空間の再編 (<https://www.central-con.co.jp/projects/御堂筋における道路空間の再編/>) i) 松山市、花園町通りリニューアル (<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/gairoseibi.files/2023hanazono.pdf>) j) okatteにしおぎ (<https://www.okatte-nishiogi.com/known.html>) k) 株式会社UG都市建築撮影 l) 東京都都市整備局、防災都市づくり推進計画 ～基本方針～

② 今後の進め方について

- 令和8年度以降も、引き続き皆さまのご意見をいただきながら、まちづくり構想を策定するとともに、具体的な事業手法に関する検討を進めてまいります。

<まちづくりのロードマップ（案）>

※スケジュールは現時点での案であり、時期・内容は検討状況等に応じて変更する場合があります。

現在



② 今後の進め方について

- 令和8年度は、引き続き意見交換会を行いながら、まちづくり構想（案）の検討・策定や、事業手法・区域の概略検討などを進めていきます。

< 令和8年度スケジュール（案） >

※スケジュールは現時点での案であり、時期・内容は検討状況等に応じて変更する場合があります。

	令和8年										令和9年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
構想等の検討	<p style="text-align: center;">←-----→</p> <p style="text-align: center;">まちづくり構想（案）の検討・まちづくり構想（案）策定, 事業手法・区域の概略検討</p>												
まちづくり意見交換会（勉強会）	<p style="text-align: center;">←-----→</p> <p style="text-align: center;">数回開催予定（まちづくり構想（案）の検討の進み具合に応じて実施）</p> <p style="text-align: right;">※令和9年度以降も、継続して実施予定</p>												

（その他の取組）

- ・ 駅周辺の施設や空間を活用した交流・滞在を促進するためイベント等の実施の検討

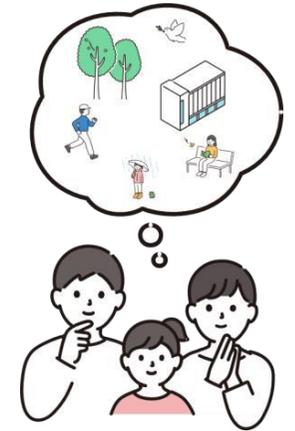
（参考イメージ）



画像出典：国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所、国道357号上部空間を活用したにぎわい創出（令和4年度）、https://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/chiba_index059.html

(4) 意見交換

○本日ご説明した「まちの将来像(案)、まちづくり方針・取組(案)」、「今後の進め方」などについて、ご意見をいただきたいと考えております。



～ 意見交換の進め方 ～

① 各自でご意見を付せんにご記入 (約5分)

② 付せんをホワイトボードに貼り出し・グルーピング (約5分)

③ 全体で内容を共有、追加のご意見 (約15分)

(4) 意見交換

<付せんにご記入いただきたい内容>

① 「まちの将来像(案)、まちづくり方針・取組(案)」について

<感じたことを自由にお書きください>

- ・ 「共感できる」「良いと思う」点
- ・ 追加したほうがよい視点やアイデア
- ・ 日常生活や利用者の立場からのご意見・ご要望

② 「今後の進め方」について

<感じたこと・アイデアをお書きください>

- ・ まちづくりのロードマップ(案)や次年度スケジュール(案)について
- ・ 駅周辺のまちづくりで、やってみたいこと・関わってみたいこと

※ご記入のお願い

- ・ 付せん1枚に1つずつ、できるだけ具体的にご意見をご記入ください(何枚でもご記入いただけます)